

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

全数報告の感染症 (7週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：ウイルス性肝炎1例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性リンパ節炎	リンパ節腫大
		延岡	50歳代	男	疑似症患者	症状なし、画像所見有り
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	50歳代	男	B型	褐色尿、発熱、肝機能異常、黄疸
	侵襲性髄膜炎菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、菌血症
	梅毒	延岡	10歳代	女	無症候 (無症状病原体保有者)	症状なし
		日向	20歳代	男	無症候 (無症状病原体保有者)	症状なし

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,397人(定点当たり30.5)で、前週比72%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

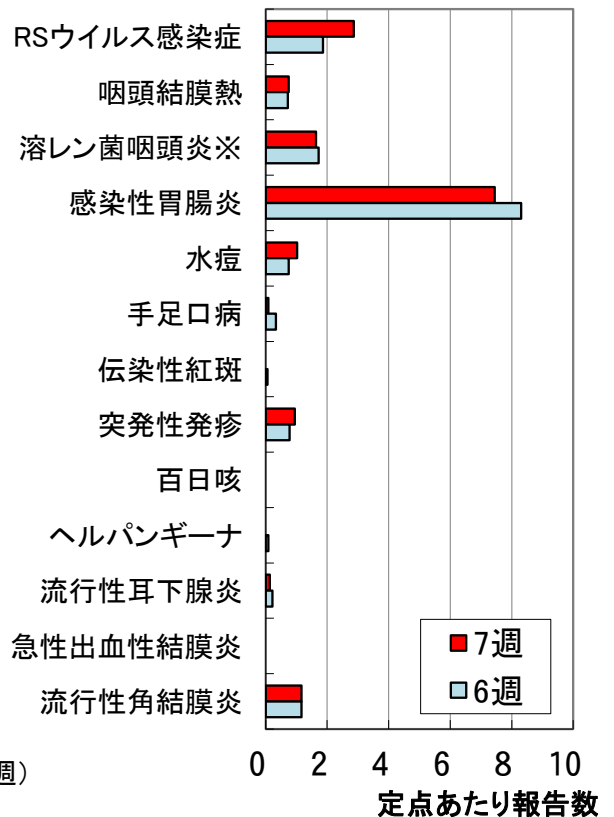
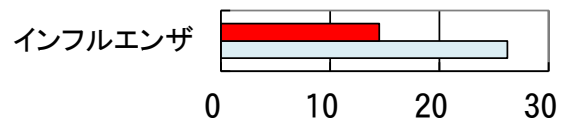
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

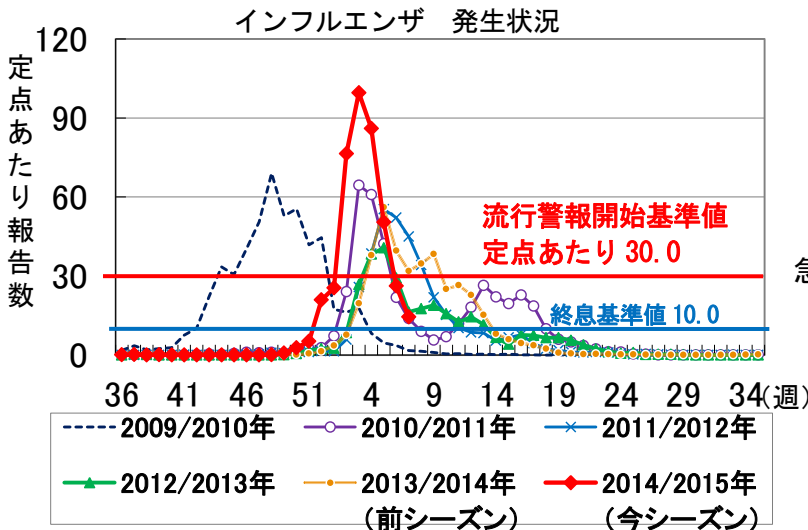
・報告数は854人(14.5)で、前週比55%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(28.8)の約0.5倍であった。小林(25.8)、中央(20.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が30%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が17%、60歳以上が6%を占めた。

* 過去4年間の当該週、前週、後週(計12週)の平均値

《前週との比較》



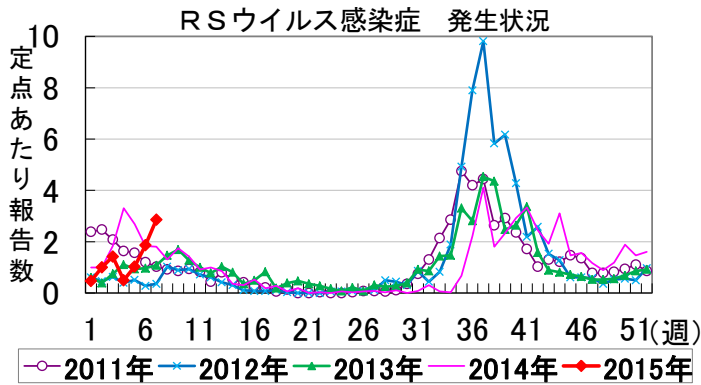
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



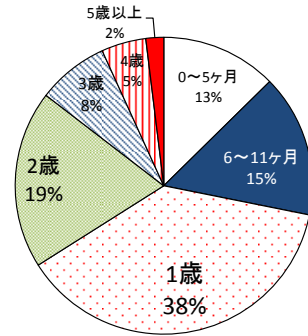
【RSウイルス感染症】

・報告数は103人(2.9)で前週比154%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.3)の約2.2倍であった。延岡(13.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



RSウイルス感染症 年齢別割合



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(12.8)
都城	インフルエンザ(15.7)
延岡	インフルエンザ(11.7)
日南	インフルエンザ(17.6)、咽頭結膜熱(4.0)
小林	インフルエンザ(25.8)
高鍋	インフルエンザ(10.7)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(12.5)
中央	インフルエンザ(20.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・咽頭結膜熱(3.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・インフルエンザ(10.0)

📍 全国第6週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第6週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	375例				
3類感染症	コレラ	1例	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	7例
	腸チフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	7例	オウム病	1例
	デング熱	3例	レジオネラ症	13例		
5類感染症	アメーバ赤痢	16例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16例
	急性脳炎	12例	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	17例	ジアルジア症	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	29例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	25例	破傷風	1例
	風しん	1例	麻しん	3例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比76%と減少した。今週増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は94,107人(19.0)で、前週比65%と減少した。新潟県(35.9)、大分県(34.5)、鹿児島県(32.0)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約20%、5~9歳が32%、10~14歳が20%、15~19歳が4%、20~59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は8,116人(2.6)で、前週比105%と増加した。鳥取県(6.4)、石川県(4.7)、山形県(4.5)からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第7週(2月9日～2月15日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1546	854	204	157	82	88	129	64	15	75	40
	定点あたり	26.20	14.47	12.75	15.70	11.71	17.60	25.80	10.67	7.50	12.50	20.00
RSウイルス 感染症	報告数	67	103	13	2	52		1	20		13	2
	定点あたり	1.86	2.86	1.30	0.33	13.00	0.00	0.33	5.00	0.00	3.25	2.00
咽頭結膜熱	報告数	26	27	2		4	12		1	1	7	
	定点あたり	0.72	0.75	0.20	0.00	1.00	4.00	0.00	0.25	1.00	1.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	59	13	7	9	6	1	8		11	4
	定点あたり	1.72	1.64	1.30	1.17	2.25	2.00	0.33	2.00	0.00	2.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	299	268	33	56	20	37	51	24	8	31	8
	定点あたり	8.31	7.44	3.30	9.33	5.00	12.33	17.00	6.00	8.00	7.75	8.00
水痘	報告数	27	37	11		15	5		5		1	
	定点あたり	0.75	1.03	1.10	0.00	3.75	1.67	0.00	1.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	12	3		1						2	
	定点あたり	0.33	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	34	6	3	6	6	6	5		2	
	定点あたり	0.78	0.94	0.60	0.50	1.50	2.00	2.00	1.25	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	5	3		1						1
	定点あたり	0.22	0.14	0.30	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	7	6		1						
	定点あたり	1.17	1.17	2.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～7週)

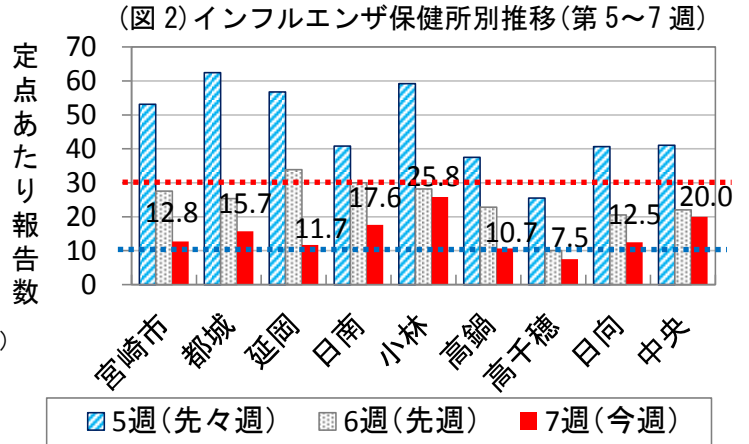
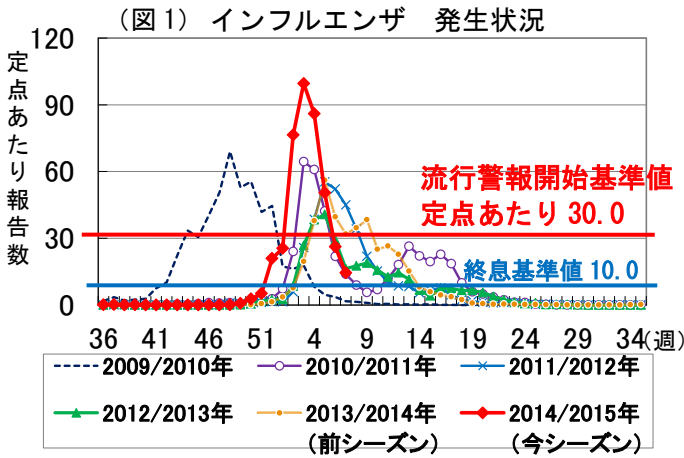
2類感染症	結核	31例(2)				
4類感染症	つつが虫病	3例				
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	2例(2)	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲

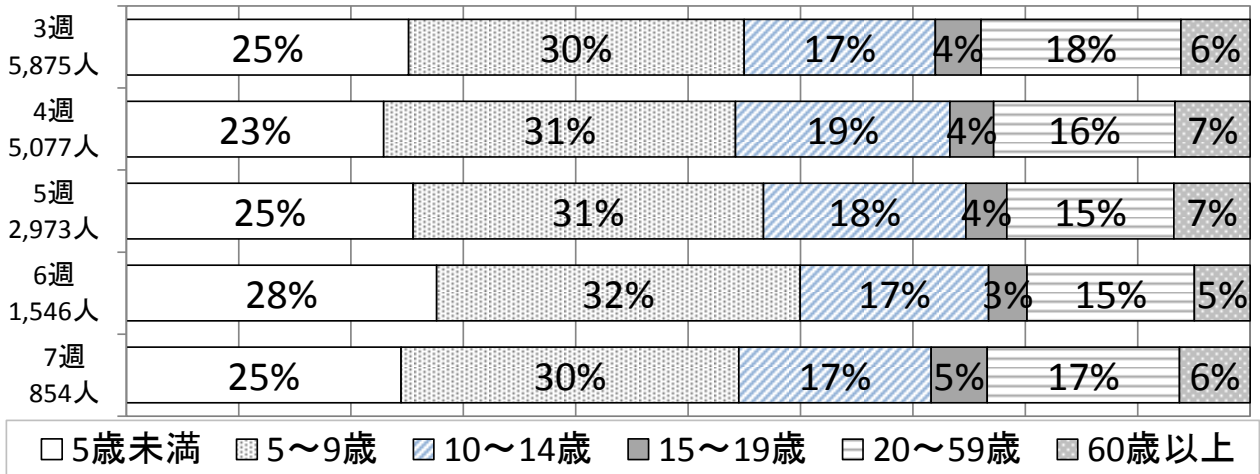
インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

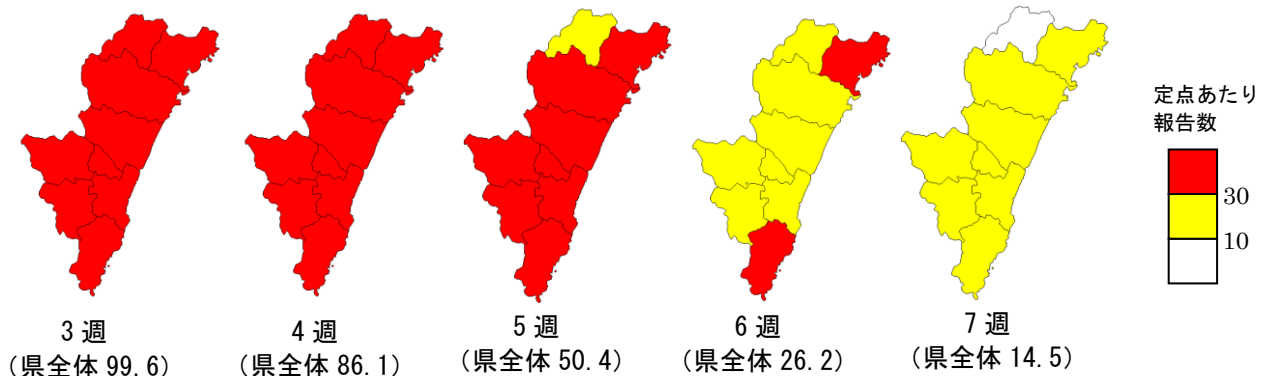
2015年2月9日～2月15日までの1週間で854人（定点あたり14.5）の報告があり、前週の約0.6倍に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（28.8）の約0.5倍であった。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の割合の推移を（図3）に示す。



(図3) 年齢群別割合の推移(第3～7週)



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第3～7週



□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2015年2月2日～2月8日までの1週間で94,107人(19.0)の報告があり前週比65%と減少した。新潟県(35.9)、大分県(34.5)、鹿児島県(32.0)からの報告が多く、流行警報レベル開始基準値(30.0)を超えている都道府県は4県と大幅に減少した。年齢別では5歳未満が全体の約20%、5～9歳が32%、10～14歳が20%、15～19歳が4%、20～59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2015年1月>

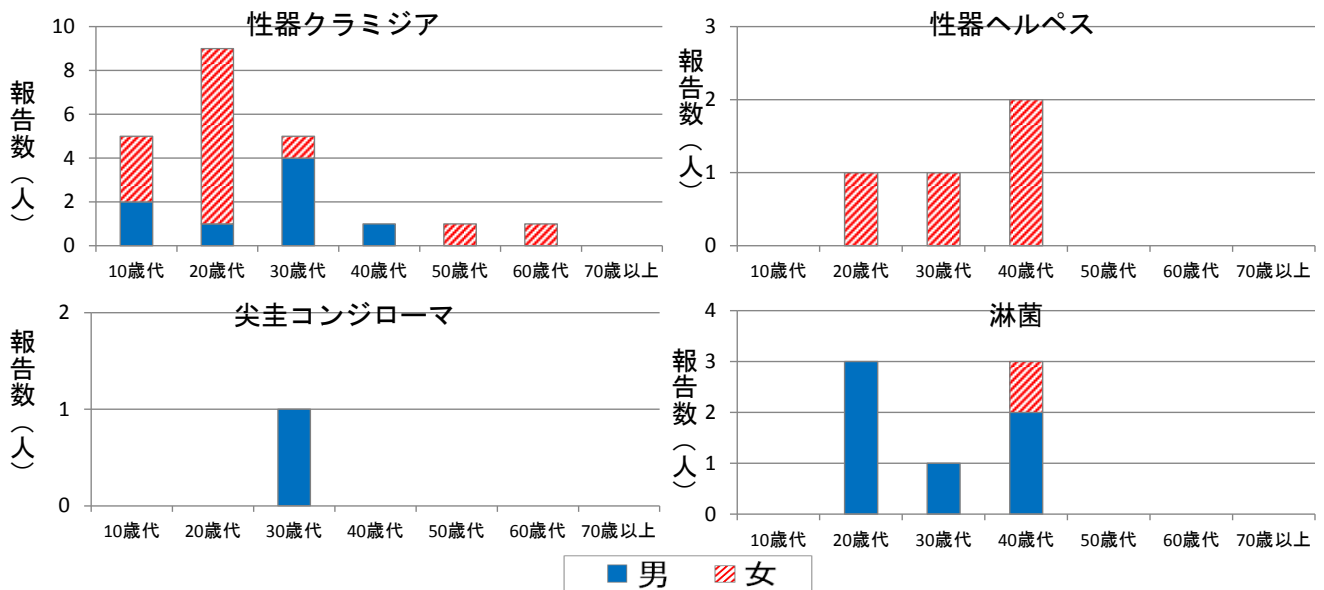
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比92%と減少した。また、昨年1月(3.0)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約0.9倍、昨年1月の約0.8倍であった。年齢別では20歳代が全体の約4割を占めた。
(男性8人・女性14人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の4.0倍、昨年1月の2.0倍であった。
(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同じ、昨年1月の0.5倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の0.7倍、昨年1月の約1.2倍であった。20歳代及び40歳代がそれぞれ全体の約4割を占めた。(男性6人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：964

定点医療機関からの報告総数は4,112人(4.2)で、前月比114%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,056人(2.1)で前月比113%、性器ヘルペスウイルス感染症771人(0.79)で前月比115%、尖圭コンジローマ459人(0.47)で前月比118%、淋菌感染症826人(0.85)で前月比115%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比124%と増加した。また昨年1月(1.7)の約2.2倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の約1.3倍、昨年1月の約2.2倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人(0.29)で、前月及び昨年1月の2.0倍であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：475

定点医療機関からの報告総数は1,647人(3.5)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,445人(3.0)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症184人(0.39)で前月比91%、薬剤耐性緑膿菌感染症18人(0.04)で前月比133%であった。